ＧＲＯＭ　Ｓステージボアアップキット　１８１ｃｃ

取扱説明書

・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
　使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
　万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、
　予めご了承下さい。

商品番号：０１－０５－０３０３（カム無）
　　　　：０１－０５－０３０４（カム付属）
適応車種及びフレーム番号
　ＧＲＯＭ：ＪＣ６１－１０００００１～
　ＭＳＸ１２５（タイ仕様）

☆特　徴☆

○ノーマルシリンダーヘッドを使用し、ボアアップするキットです。
○ピストン径をφ５２.４mmからφ６３mmにボアアップし排気量を１８０.５ｃｃに、圧縮比を９.３：１から１１：１にアップさせます。
○シリンダーに耐久性、気密性、放熱性に優れたオールアルミセラミックメッキシリンダーを使用。オイル通路取り出しボスを設け、オイルクーラーキットに対応する高機能なシリンダーです。
　又、オイルプラグボルトにはＭ５ネジ穴を設けていますので、弊社製Ｍ５温度センサーの取り付けが可能です。
○弊社製エキゾーストマフラーとの組み合わせにより更なるパワーアップが望めます。

☆正しく安全にご使用頂く為に☆

！使用燃料についてのご注意！

このキットは、ノーマルに比べて高圧縮比となるように設定しておりますので、燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。レギュラーガソリンを使用すると、異常燃焼を起こして本来の性能を発揮しない上に、ピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。
キット取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！Ｆ.Ｉ.コントローラーについてのご注意！

このキットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず弊社製Ｆ.Ｉ.コントローラーを同時装着し、燃料噴射の補正を行って下さい。

！デコンプについて！

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プーラー、プレス等の特殊工具が必要になります。
デコンプパーツを取り付けない場合、エンジンの排気量、バッテリーの使用状況に拠ってはエンジンの始動が困難になる場合があります。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ずＣＰＲ７ＥＡ―９（ＮＧＫ）又はＵ２２ＥＰＲ―９（ＤＥＮＳＯ）相当に交換して下さい。
その後、個々に合った番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

・取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
・この製品を取り付けると原付２種の排気量を越えるため一般公道の走行は出来ません。一般公道を走行すると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。
・ＭＳＸ１２５は、タイ国内において予期せず仕様が変更された場合、この製品が取り付け出来ない恐れがあります。予めご了承下さい。
・弊社製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
・製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
・他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
・弊社製品は上記適合車種の専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
・弊社製品の取り付けには上記適合車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
・取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。
・この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
・必ず慣らし運転を行って下さい。
・このキットを取り付けると出力アップに伴い発熱量も増加します。長時間の高負荷走行にはオイルクーラーキットの装着をお勧め致します。
・オイルクーラーキット又はオイル取り出しのバンジョーボルト、及びバンジョーは弊社製のＧＲＯＭ専用品が必要です。他社製品や別車種用品との組み合わせは絶対に行わないで下さい。
・ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品のものをご使用下さい。
・運転者の体重や走行状況により２次減速比の変更が必要になる場合があります。

⚠注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

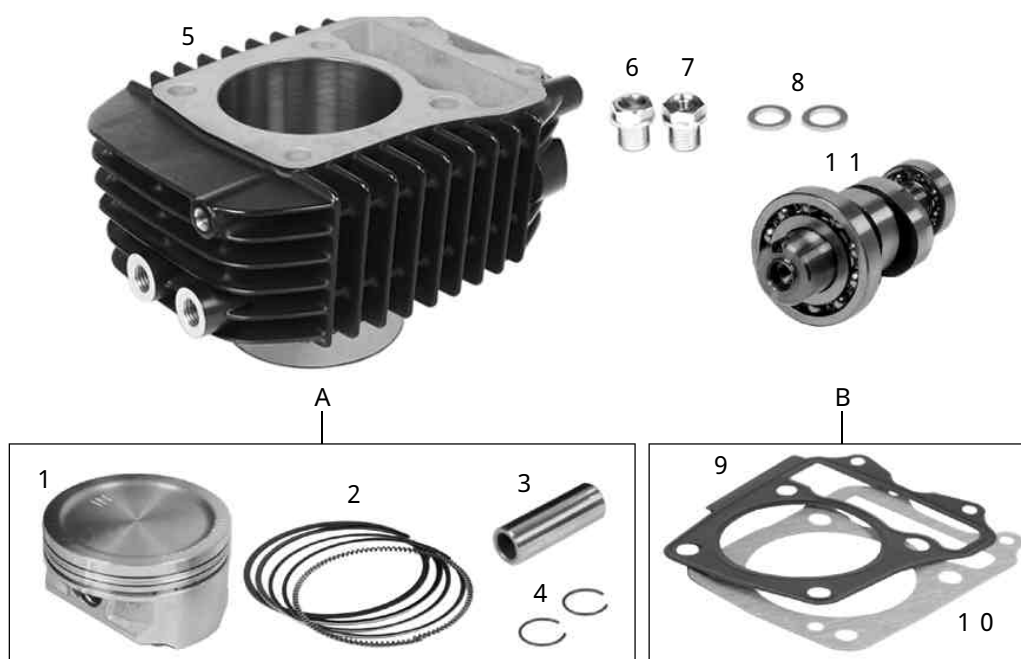
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
　（部品の脱落の原因となります。）
　※シリンダーヘッドは、必ず規定トルクで増し締めを行って下さい。
・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～

番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	１３１０１－Ｋ２６－Ｔ７０	1
2	ピストンリングセット　６３mm	1	０１－１５－０１０６	1
3	ピストンピン　１３×38.5	1	１３１１２－１６５－Ｔ０２	1
4	ピストンピンサークリップ　１３mm	2	００－０１－０００３	6
5	シリンダー	1	０１－０１－０１１４	1
6	プラグボルト	1	００－０７－００７２（シーリングワッシャ付）	各1
7	プラグボルトＭ５穴付	1	００－０７－００９０（シーリングワッシャ付）	各1
8	シーリングワッシャ　１０×１４×1.5	2	００－０７－００１０	１０
9	シリンダーヘッドガスケット	1	１２２５１－ＫＹＺ－Ｔ００	1
１０	シリンダーガスケット	1	００－０１－０３７０	1
１１	スポーツカムシャフト	1	０１－０８－０１７１	1

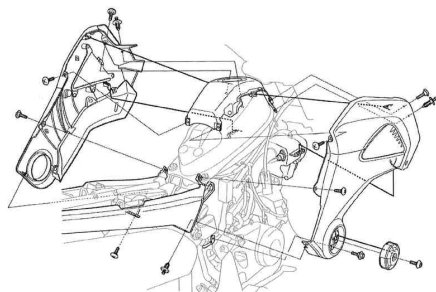
番号	部　品　名	リペア品番
A	ピストンキット	０１－０２－０１６４
B	ガスケットセット	０１－１３－０１２１

※０１－０５－０３０３には１１のスポーツカムシャフトは付属しません。
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

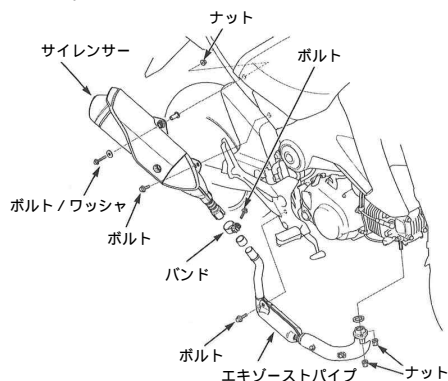
・水平な場所でメンテナンススタンドにて車両をしっかりと安定させる。

●外装部品の取り外し

・シートを取り外し、ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして左右のシュラウドを取り外す。

●（ノーマル）エキゾーストマフラーの取り外し

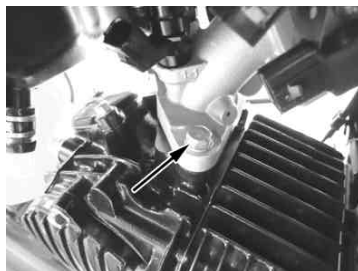
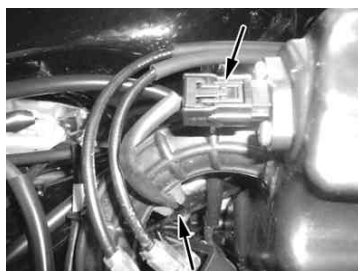
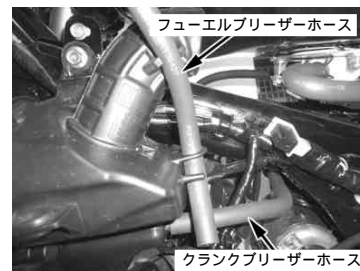
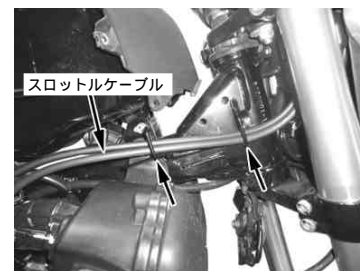
※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

・バンドのボルトを緩め、サイレンサーのボルト及びボルト／ナットを取り外してサイレンサーをエキゾーストパイプから抜き取る。

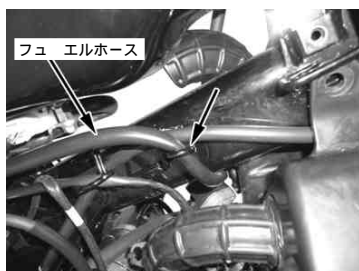
・シリンダーヘッド部のナット２個とボルト１個を取り外し、エキゾーストパイプを取り外す。

●インレットパイプ／スロットルボディー／エアクリーナーケースの取り外し

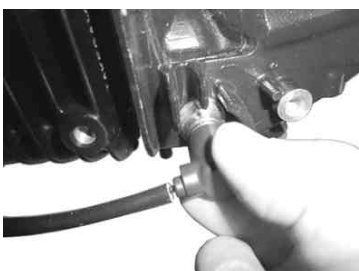
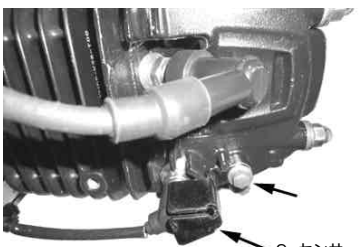
・スロットル開度センサー３Ｐカプラ、インジェクター２Ｐカプラ、ソレノイド２Ｐカプラの接続を外す。

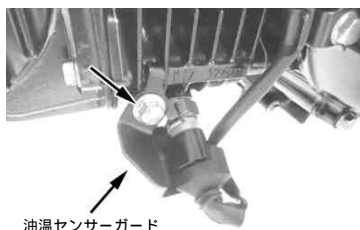
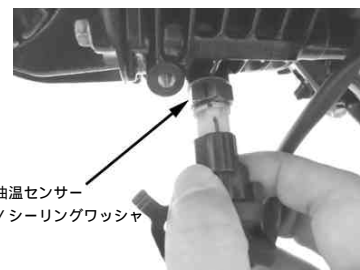
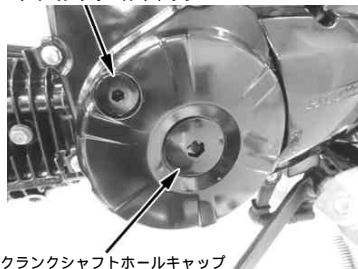
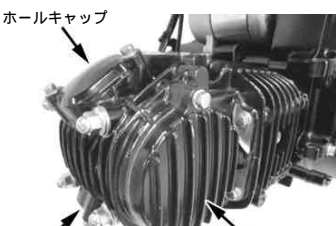
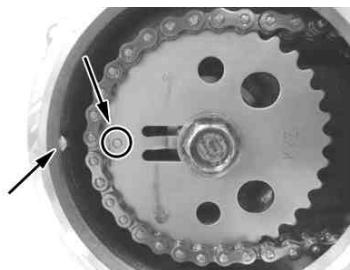
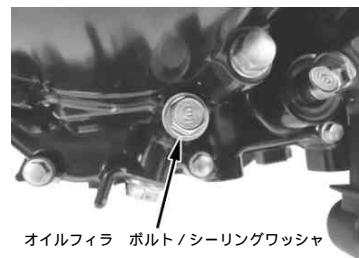
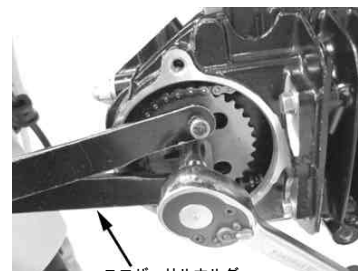
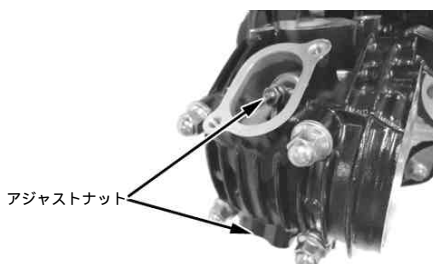
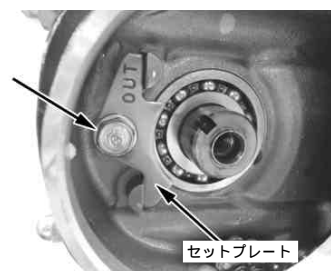
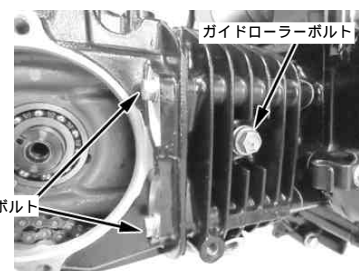
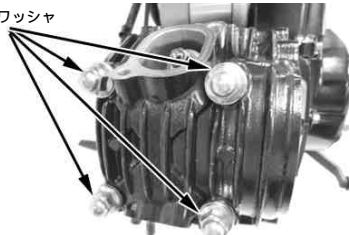
・ボルトワッシャを取り外し、スロットルドラムカバーを取り外す。

・インレットパイプのボルト２本を取り外し、インシュレーターを取り出す。インシュレーター両面のＯリング２個の紛失に注意する事。

・エアクリーナーケースの吸気温センサーのカプラの接続を外し、コネクティングチューブのクランプから配線を外す。

・エアクリーナーケースからクランクケースブリーザーホース、フューエルブリーザーホースの接続を外す。

・フレームのガイドからスロットルケーブルを外す。

・フレームのガイドからフュ―エルホースを外す。

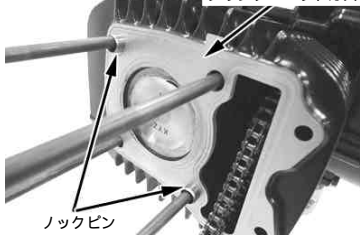
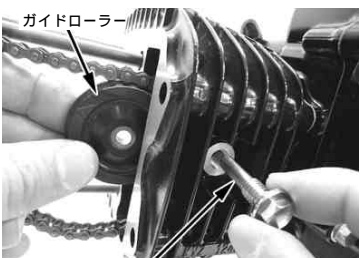
・エアクリーナーケースとフレームを止めているボルト２本を取り外す。

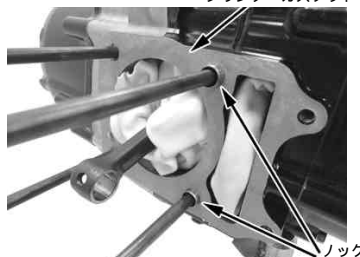
・インレットパイプ／スロットルボディー／エアクリーナーケースがつなげたままで取り外しながらフレームのガイドからフュ―エルホースを取り外す。
エンジン、フレーム間から抜き取り、フュ―エルホースに負担が掛からないようにフレーム等に置いておく。

●シリンダーヘッドの取り外し

・ボルト１本を取り外し、シリンダーヘッドのO_2センサーガードを取り外す。O_2センサーキャップを回すのを１／２回転以下に抑えながらセンサーから取り外す。
※O_2センサーは衝撃に弱いため取り扱いに注意。
落としたり衝撃を与えた場合は新品に交換する事。

・スパークプラグキャップを取り外し、スパークプラグを取り外す。

・ボルトを取り外し、シリンダーの油温センサーガードを外す。

・油温センサーのカプラの接続を外す。油温センサー及びシーリングワッシャを取り外す。

・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップを取り外す。

・ボルト２本をそれぞれ取り外しシリンダーヘッドＬ.サイドカバー／Ｏリング、インテーク側、エキゾースト側のホールキャップ／Ｏリングを取り外す。

・クランクシャフトを反時計方向に回し、カムスプロケットの“Ｏ"マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。

・オイルフィラ―ボルトとシーリングワッシャを取り外す。

・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットボルトを取り外し、カムスプロケットを取り外す。

・インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。セットプレートのボルトを緩めておく。

・シリンダーのガイドローラーボルトを緩めておく。シリンダーヘッドのサイドボルト２本を取り外す。

・シリンダーヘッドナット４個を対角に数回に分けて緩め、ワッシャ４個と共に取り外す。

・シリンダーヘッドを取り外す。

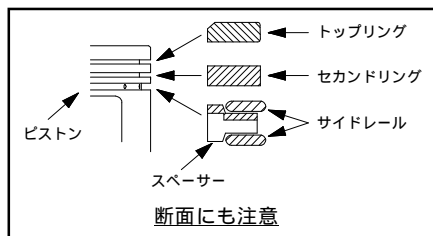
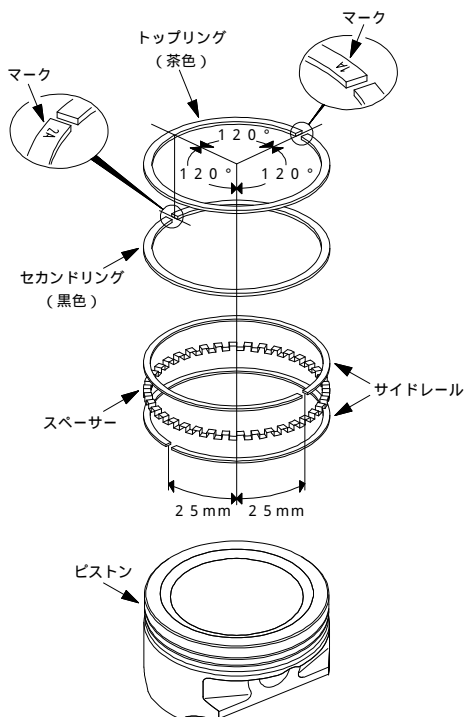
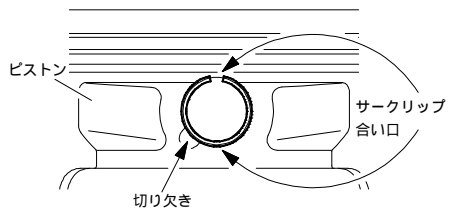
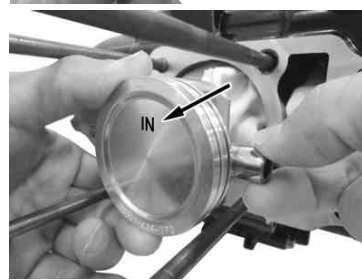
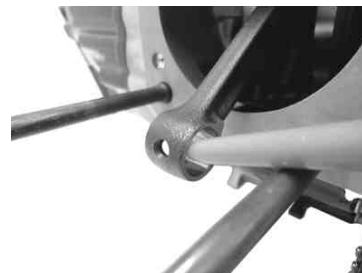
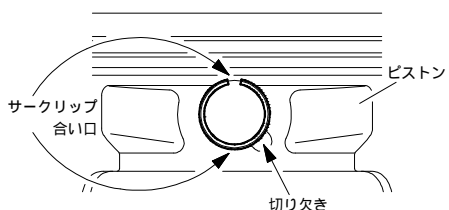
●シリンダー、ピストンの取り外し

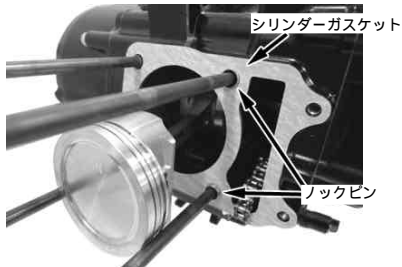
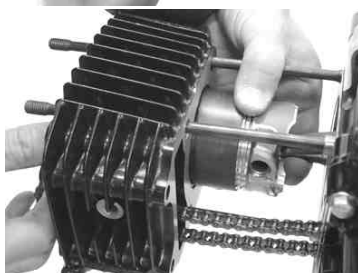
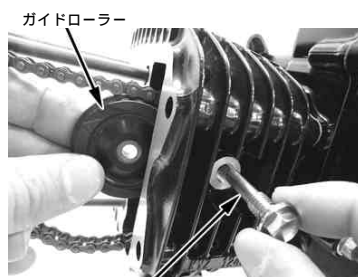
・シリンダーヘッドガスケットとノックピン２個を取り外す。

・シリンダーのガイドローラーボルト／シーリングワッシャを取り外し、ガイドローラーを取り出す。

・シリンダーを取り外す。
※クランクケース内に部品が入り込まないようにクランクケース開口部をウエス等でふさいでおく。
・ピストンピンサークリップの片側を外し、ピストンピンを外し、ピストンを取り外す。

・シリンダーガスケットとノックピン２個を取り外す。クランクケースにシリンダーガスケットがこびり付いている場合はスクレイパーにて剥がす。

●シリンダーの干渉の確認

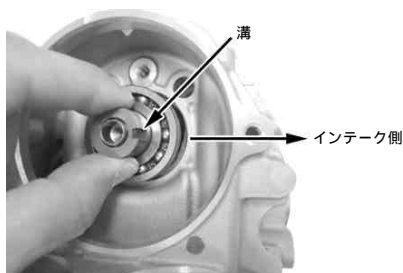
※クランクケースの個体差により、シリンダーのクランクケース挿入部（スカート部）とクランクケースが干渉する場合がある。干渉したまま使用すると、エンジントラブルの原因となるので、必ず確認する事。
・ノックピン２個を使用し、付属のシリンダーのみをクランクケースに取り付け、シリンダースカートとクランクケースの干渉の確認を行う。

●ピストンの取り付け

・付属のピストンのピストンリング溝をエアブローし、各ピストンリングを取り付ける。
※２NDリング及びTOPリングは文字面を上にして取り付ける。
※ピストン及びピストンリングを傷つけたり、破損させない事。
※取り付け後、リングがなめらかに回転する事を確認する事。
※リングの合口は、図のように１２０度間隔で取り付ける事。

・片側のピストンピン穴のサークリップ溝にサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。

・コンロッド小端部、ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しピストンピンにモリブデングリスを塗布しピストン頭部にある“ＩＮ"マークをインテーク側に向け、ピストンピンを取り付ける。

・ピストンピンサークリップ溝にピストンピンサークリップを取り付ける。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けてピストン上下方向に向けて取り付ける。

●シリンダーの取り付け

・クランクケースのシリンダー取り付け面を清掃し、クランクケース開口部につめていたウエスを取り外しておく。
・クランクケースにノックピン２個とキット内の新品のシリンダーガスケットを取り付ける。

・ピストンリング部にエンジンオイルを塗布し、なじませる。シリンダー内周部を清掃した後にエンジンオイルを塗布する。カムチェーンをシリンダーに通し、ピストンリングを指で圧縮しながらシリンダーを取り付ける。

・ガイドローラーをシリンダーの取り付け穴に合わせ、ガイドローラーボルト／シーリングワッシャを仮止めしておく。

●カムシャフトの取り外し

・ボルトを取り外し、セットプレートを取り外す。ロッカーアームシャフト、ロッカーアーム、ニードルベアリングを取り外す。

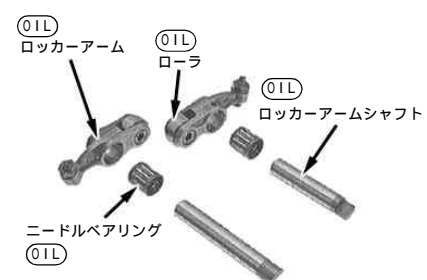
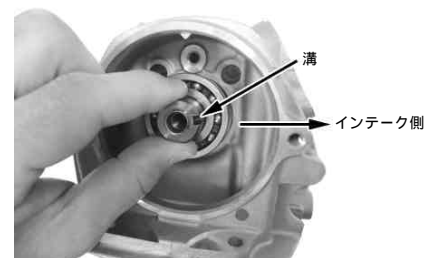
・カムシャフトの溝をインテーク側に向け、シリンダーヘッドから取り外す。

●デコンプパーツの取り付け

※デコンプパーツを取り付けない場合、エンジンの排気量、バッテリーの使用状況に拠ってはエンジンの始動が困難になる場合がある。
　取り付けない場合は「カムシャフトの取り付け」からの手順に従う事。
※取り外し、取り付けにはベアリングプーラーやプレス等の特殊工具を使用し、作業を行う事。
・ノーマルカムシャフト、キット付属のカムシャフトからＥＸ側のベアリングを取り外す。
・ノーマルカムシャフトからデコンプパーツを取り外す。
・取り外した逆の手順でキット付属のカムシャフトにデコンプパーツを取り付ける。

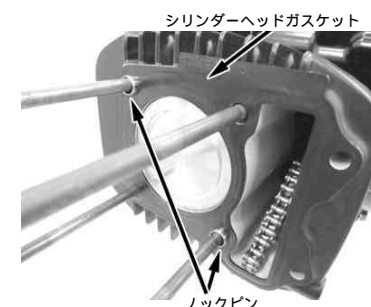
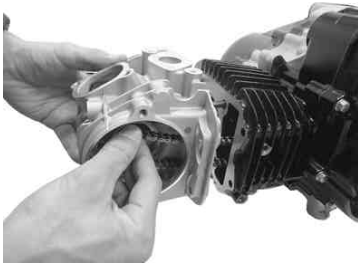
・各部にモリブデン溶液を塗布する。
・ベアリングを圧入する。

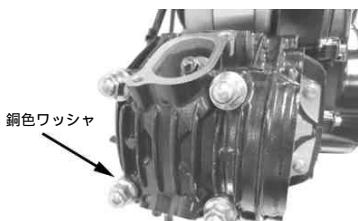
●カムシャフトの取り付け

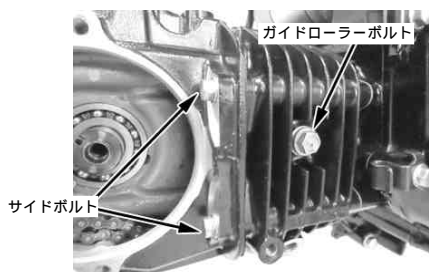
・キットのカムシャフトのカム摺動部、ベアリングにエンジンオイルを塗布する。

・ロッカーアームシャフトの摺動部とニードルベアリングにエンジンオイルを塗布する。
　ロッカーアームの内面とローラの摺動部にエンジンオイルを塗布する。
※エキゾーストロッカーアームシャフトはインテークロッカーアームよりも長い。

・カムシャフトの溝をインテーク側に向け、カムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。

・ロッカーアーム、ニードルベアリング、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッド内に取り付ける。
・セットプレートの“ＯＵＴ"マークを外側にしてシリンダーヘッドにセットし、ボルト１本にて仮止めする。

●シリンダーヘッドの取り付け

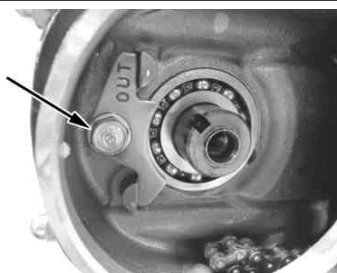
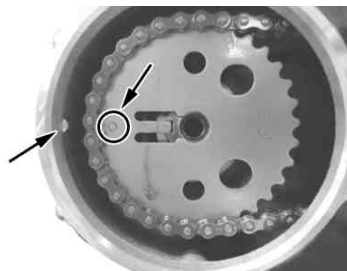
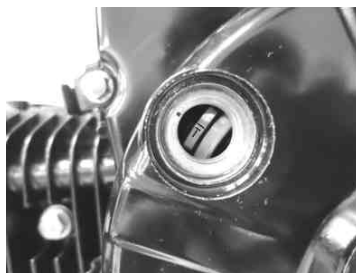
・シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面を清掃する。ノックピン、キット内のシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。

・カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

・銅色のワッシャをヘッドに向って左下に、他の銀色のワッシャ３個もセットし、シリンダーヘッドナット４個、シリンダーヘッドのサイドボルト２本を取り付ける。
・シリンダーヘッドナット４個を対角に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

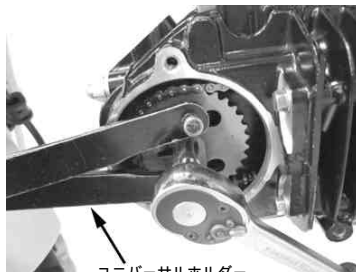
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２４Ｎ・ｍ（２.４ｋｇｆ・ｍ）

・シリンダーヘッドのサイドボルト２本を交互に数回に分けて締め付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・仮止めしていたシリンダーのガイドローラーボルトを規定トルクにて締め付ける。

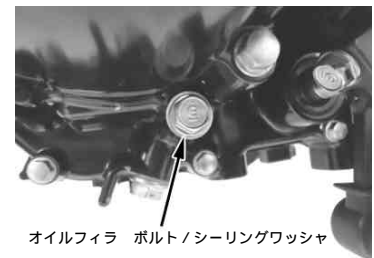
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

・仮止めしていたカムシャフトのセットプレートのボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

・フライホイールの“Ｔ"マークがクラッチカバーの合わせマークに合っているか確認し、カムスプロケットの“Ｏ"マークがシリンダーヘッドの突起と合うようにカムチェーンを付け、カムシャフトの溝にカムスプロケットの突起を合わせて取り付ける。

・ユニバーサルホルダーにてカムスプロケットを固定し、カムスプロケットのボルトを規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）

・クランクシャフトを反時計方向に２回転回し、フライホイールの“Ｔ"マークをクラッチカバーの合わせマークに合わせ、カムスプロケットのタイミングマークがシリンダーヘッドの合わせマークと合っていることを確認する。

・ボルト穴にエンジンオイルを少量注入し、オイルフィラーボルトとシーリングワッシャを取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）

●バルブクリアランスの調整

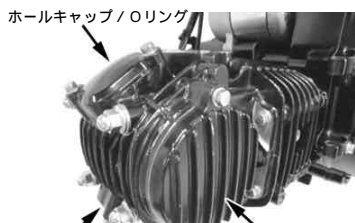
・フライホイールの“Ｔ"マークがクラッチカバーの合わせマークに合い、且つカムスプロケットの“Ｏ"マークがシリンダーヘッドの突起と合っている事を確認する。
・ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間にシックネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シックネスゲージが少し抵抗がある程度に引き抜けるぐらいに合わせてアジャストナットを締め付ける。

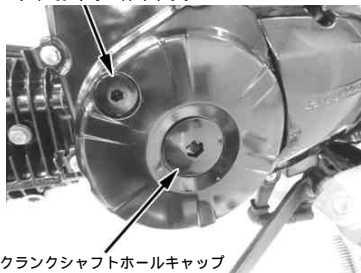
バルブクリアランス
ＩＮ：０.１０mm
ＥＸ：０.１７mm

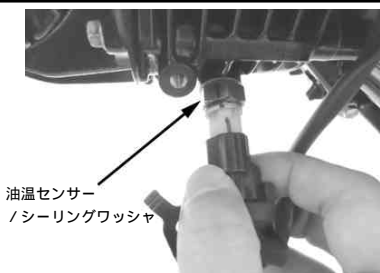
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：９Ｎ・ｍ（０.９ｋｇｆ・ｍ）

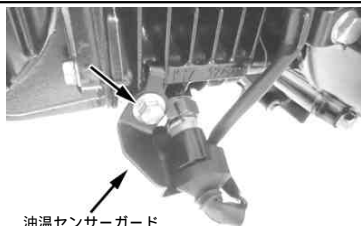
・バルブクリアランス調整後、反時計方向にフライホイールを２回転回した後で“Ｔ"マークとタイミングマークをそれぞれ合わせ、バルブクリアランスが変化していないか点検する。変化している場合は再度調整し、合うまでこの作業を繰り返す。

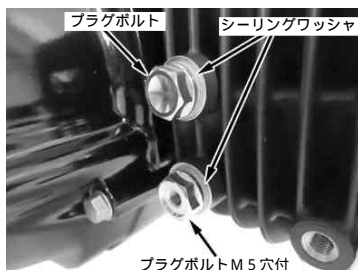
・シリンダーヘッドL.サイドカバー／Oリングをシリンダーヘッドに取り付け、ボルト２本を取り付ける。インテーク側、エキゾースト側それぞれのホールキャップ／Oリングをボルト各２本にて取り付ける。

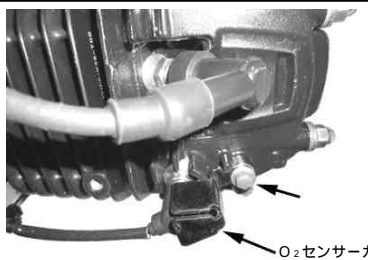
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１０N・m（1.0ｋｇｆ・m）

・タイミングホールキャップ及びクランクシャフトホールキャップにOリングが付いている事を確認して取り付け、規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
タイミングホールキャップ
：６N・m（0.6ｋｇｆ・m）
クランクシャフトホールキャップ
：８N・m（0.8ｋｇｆ・m）

・油温センサー及びシーリングワッシャをシリンダーに取り付け、規定トルクにて締め付ける。油温センサーのカプラを接続する。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：14.5N・m（1.5ｋｇｆ・m）

・油温センサーガードをボルト１本にてシリンダーに取り付ける。

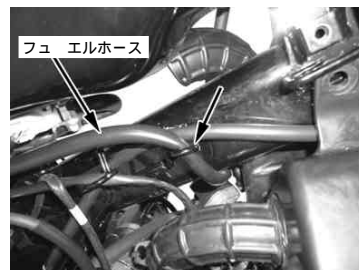
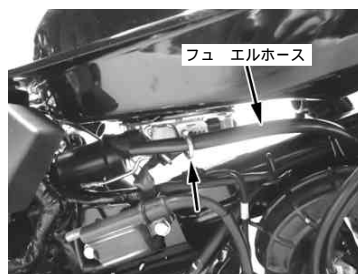
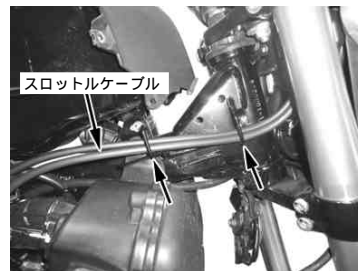
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２N・m（1.2ｋｇｆ・m）

・付属のシリンダーのボス部２箇所にプラグボルト／シーリングワッシャを取り付ける。
プラグボルトＭ５穴付は、エンジン取り付け時に下側になるよう取り付ける。
※オイルクーラーキットを取り付ける場合は、そのキットの取扱説明書に従う事。

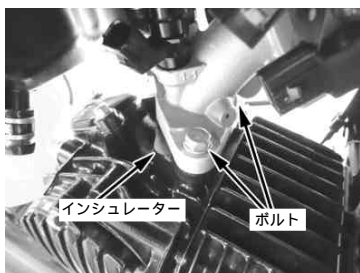
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２N・m（1.2ｋｇｆ・m）

・O_2センサーのキャップをまっすぐに接続する。O_2センサーガードをボルト１本にてシリンダーヘッドに取り付ける。

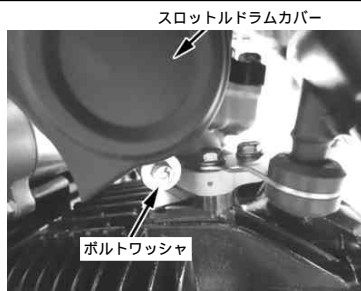
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２N・m（1.2ｋｇｆ・m）

・スパークプラグを取り付け、規定トルクにて締め付ける。スパークプラグキャップを取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１６N・m（1.6ｋｇｆ・m）

●インレットパイプ／スロットルボディー／エアクリーナーケースの取り付け

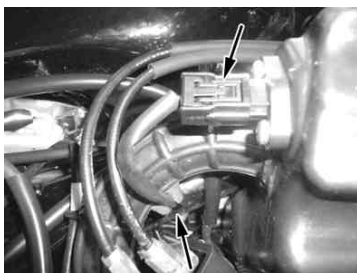
・インレットパイプ／スロットルボディー／エアクリーナーケースをセットしながら、フレームのガイドにフューエルホースをセットし、エアクリーナーケースのボルト２本を仮止めする。

・フレームのガイドにフューエルホースをセットする。

・フレームのガイドにスロットルケーブルをセットする。

・インシュレーター両面のＯリング２個が付いている事を確認して、インレットパイプとシリンダーヘッドの間にセットする。この時、インシュレーターのピンはシリンダーヘッド側に向ける。ボルト２本にてインレットパイプをシリンダーヘッドに取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

・スロットルドラムカバーをボルトワッシャにて取り付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：５.２Ｎ・ｍ（０.５ｋｇｆ・ｍ）

・仮止めしていたエアクリーナーのボルト２本を規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：１２Ｎ・ｍ（１.２ｋｇｆ・ｍ）

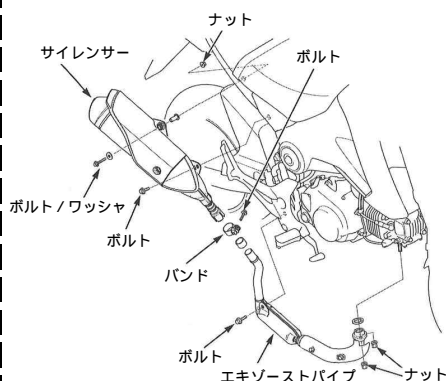
・エアクリーナーケースにクランクケースブリーザーホース、フューエルブリーザーホースを接続する。

・エアクリーナーケースに吸気温センサーのカプラを接続し、配線をコネクティングチューブのクランプに取り付ける。

・スロットル開度センサー３Ｐカプラ、インジェクター２Ｐカプラ、ソレノイド２Ｐカプラを接続する。

※ＦＩ　ＣＯＮ２取り付けの際には、その取扱説明書に従い作業を行う事。

●（ノーマル）エキゾーストマフラーの取り付け

※エキゾーストマフラーがノーマル品から変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取扱説明書に従う事。

・ナット２個とボルト１個にてエキゾーストパイプを仮止めする。サイレンサーをエキゾーストパイプに挿し込みサイレンサーのボルト及びボルト／ナットを仮止めする。

・各部を規定トルクにて締め付ける。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプ部のナット
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）
エキゾーストパイプ部のボルト
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）
サイレンサーのボルト／ナット
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）
サイレンサーのボルト
：２７Ｎ・ｍ（２.８ｋｇｆ・ｍ）
バンドのボルト
：２０Ｎ・ｍ（２.０ｋｇｆ・ｍ）

●外装部品の取り付け

・ホンダ純正サービスマニュアルを参考にして左右のシュラウドを取り付ける。

●ＦＩ　ＣＯＮ２の設定

・ＦＩ　ＣＯＮ２の設定をその取扱説明書に従い行う。

●走行前の注意

・燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。
・各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。
・エンジンオイルが規定量入っているか確認する。
・風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し暖気運転させる。
・エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれが無いか点検する。
・エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。

〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp